



【学校評価の結果報告】

12月に保護者の皆様にお願ひしました学校評価のアンケート結果、および、その分析・まとめが終わりましたので、主な結果についてご報告いたします。今後も、いただきましたご意見等をふまえ、笹原中学校をよりよい学校にするために、改善してまいります。

なお、教職員の自己評価ならびに学校関係者評価を入れました「学校評価総括表」の詳細につきましては、すでに学校HP（ホームページ）に掲載しておりますので、どうぞ、ごらんください。アンケートへのご協力、本当にありがとうございました。

＜保護者アンケートより＞（※アンケート結果より一部抜粋）

ほとんどの項目で肯定的評価が80%を超えています。昨年課題であった、「学校は、いじめや子ども同士のトラブルなどにしっかりと対応している（78.5%→83.0%）」「学校は、朝読書や図書館の整備、図書館だよりの発行など、読書に親しむ機会を設けている（88.3%→93.0%）」等については、改善の方向にあります。

（肯定的評価の%）

アンケート項目	H31年度	H30年度
学校は保護者や地域の願ひに答えている	91.0%	88.5%
学校は電子黒板やプロジェクターなどのデジタル機器を授業に取り入れている	85.8%	86.1%
先生は生徒の学力向上のため、授業の工夫や笹トレなど補習授業の実施に努めている	90.8%	89.1%
学校はコミュニティスクールへの移行を進め、保護者や地域との連携に努めている	86.1%	86.1%

＜生徒アンケートより＞（※アンケート結果より一部抜粋）

ほとんどの項目で肯定的評価が80%を超えています。ただし、「学校行事は楽しい（95.2%→93.5%）」「授業で話し合いや発表する場面で、積極的に発言できる（61.6%→64.5%）」「学校は朝の読書や図書館利用など読書に力を入れている（78.6%→82.2%）」「地域の行事（祭り、餅つき、運動会、ボランティア活動など）に参加している（63.0%→63.8%）」等については、もう少し改善の余地があります。

（肯定的評価の%）

アンケート項目	H31年度	H30年度
学校に行くのが楽しい	82.4%	82.0%
学校行事（体育大会・宿泊行事・トライやるなど）は楽しい	93.5%	95.2%
先生は電子黒板やプロジェクターなどデジタル機器を使うなど工夫して教えてくれる	96.0%	95.9%
授業はわかりやすく楽しい	87.4%	82.0%
授業の最後に学習内容を振り返る活動が行われている	88.2%	89.3%
笹トレで教え合いすることは学力向上に効果がある	80.4%	80.0%
自分を大切にすることや他人への思いやりについて教えてくれている	88.7%	87.4%
学校で、あいさつや時間など社会のルールやマナーについて教えてくれている	96.2%	95.4%

＜第5回学校運営協議会＞～学校関係者評価～

2月15日（土）10：30～、本校のCSルーム（格技棟1F）で、今年度最終「第5回学校運営協議会」を開催しました。会議の中で、学校評価（自己評価含む）についてのご意見をいただきましたので、主なものを紹介します。



【安心・安全な学校づくり】

○「笹トレ」は笹原中学校の教育での基幹的な位置づけとなっている。3年前から「笹トレ」を実施することにより生徒の学力が向上することが明確となっている。その結果、各教員の自主的な努力や各行事に対する協力などにより、生徒の「心の荒れ」を防ぐことになり、学校が極めて安定的な状態となっている。つまり、生徒が学校は「安全で安心な場所」であるとの意識が定着してきているようである。

○「学校、学校行事が楽しい」と、生徒、保護者とも肯定的評価が高いのが良いですね。

○防災訓練を地域との連携で実施することは、今後避難所開設など含めて必要になる。

○自転車のマナーやスマホの使い方についての指導・講演会は継続し充実させてほしい。

【学力の向上について】

○「全国学力調査」の結果において全国平均を上回るようになってきている。以前の笹原中学校の学力状態と比較すると、これは極めて評価すべき点である。笹原中学校は過去に何度も「学校が落ち着かない状態」を経験し、学力が全国平均を下回る事態が長く続いてきたことを考えると、画期的なことである。

○「笹トレ」は継続するべき。教員間で、意義についての共通理解を毎年図ってほしい。

○個人情報の管理は徹底してほしい。100%の評価でなければならない。

○授業研究会、事後研修会は継続したうえで、保護者や地域の参加を取り入れて、意見交換してほしい。今年度地域の立場で参加して、とても有意義であった。

○特別な支援が必要な生徒が増えていくので、特別支援教育の充実をのぞむ。

○キャリア教育の視点は大切。社会とのつながりを意識した授業を充実させ、「話す力」「書く力」など、表現力をつけてほしい。

○家庭学習の徹底は、今後も課題。保護者への周知が必要である。

【豊かな心・健やかな体の育成について】

○生徒の学力が向上すると、生徒の心が安定的になり、その結果として全てのことが好転するようになる。多くの項目において、良好な評価が多く見られるようになってきている。

○人権に配慮した教員の指導方法を徹底してほしい。（教員のことばづかい、頭ごなしの指導等について、教員の意識の徹底、研修をお願いしたい。）

○スマホの使い方の指導を、保護者をふくめて徹底してほしい。

○不登校生徒が増える中で、関わりを一層充実させてほしい。

○給食指導において、残食はないにこしたことはないが、一方で、こだわりすぎないことも必要。

○生徒の生活習慣の改善には、家庭の協力が極めて重要である。また、学校からの情報発信や学校関係者の活動が大きな要となる。

（ウラへ続きます）

- 地域へのボランティア活動等は、学校の取り組みを地域内に明確に示すことができるため、継続してほしい。
- 保護者による学校支援ボランティア(図書、園芸、土曜学習)の活動が定着したことはとても重要であり、今後も安定的な継続が望まれる。
- CSディレクターによる毎月5～6回以上のHPの更新は、学校の情報開示につながり、これも安定的な継続が望まれる。
- 学校運営協議会の提言にも耳を傾けてくれていることも評価できる。
- オープンスクールは継続して、より多くの人に学校をみてもらうべき。
- 土曜学習は継続した上で、今後は学習内容の充実ができるとうい。
- 地域との連携は、サポーター制度や笹フェスなど充実している。
- 管理職以外の教員との情報交換、意見交換の場がほしい。先生方の生の声が聞きたい。



総括として、『「笹トレ」の様々な分野への影響が極めて大きい。「笹トレ」実施は教職員全体の結束状況が明確に出ており、今後も継続できるよう努力を続けてほしい。教職員全体が共通理解(なぜ「笹トレ」を導入したのか)を深めておくことが、様々な項目において良好な成果につながっていると思われる。「笹トレ」の教育への波及効果を十分に理解して教育実践を続けてほしい。また、「生徒ファースト」にもとづいた様々な教育活動により、生徒の「自己肯定感」は向上していると思われるので、今後も継続してほしい』そして、次年度に向けては、『「生徒ファースト」「自立」という理想に向けて、保護者との共通認識をもってほしい。また、働き方改革とのバランスをとりながら、地域人材やCS委員からつながりのある人材などをうまく活用してほしい』と、本校研究推進・学校運営協議会オブザーバーである太成学院大学教授伊藤先生や各委員の方々から指導・助言をいただきました。